

大宝・地域ケア

ネットワークだより

第3号
平成29年4月1日

「一年間の歩みと

3年目を迎えて」

本部長 大林 登

クだより（第2号）発行。
(9月全戸配布)

⑤第2回「認知症サポーター
養成講座」

（講師：河南町キャラバンメイト。
H29年1月。住民62名）

⑥理事管外研修「川村義肢（株）」
(H29年2月。理事16名)

大宝では従来から高齢者の社

会参加や、ボランティア活動が盛んです。団体、個人をとわず趣味活動、健康体操、コミュニティサービスの開催、見守り、在宅配食サービスなど各種福祉活動等。これはとりもなおさず参加者それぞれの介護予防に直結しています。

一方、初期認知症の方が今後増えてゆくことも、この高齢化社会では不可避のことです。よくいわれますように、この住み慣れた大宝でいつまでも元気で、明るく過ごすにはお互いの助け合いが必要です。

①「介護保険制度について」
(講師：河南町高齢障がい福祉課。6月。構成12団体有志)
②「介護保険で利用できるサービスについて」
(講師：社会福祉法人カナン
施設長八尾英人氏。7月。
住民78名)
③「福祉施設カナン 見学研修」
(9月～10月2回。住民47名)
④「大宝・地域ケアネットワー

いのではないでしようか。気軽にお話し合いができる、肩の荷が少しでも軽くなるような機会や場所をつくる行きたいものです。皆さまの声をお聞きしたいと思います。

「認知症」の違いで区別しにくい事例もあり、自分を省みてホツとした一面もありました。

もう何十年も昔の話になりますが、高齢者の方が、富田林から帰宅されず当時の老人会、町内会の方々が、目撃証言を元に毎日探し回られましたが、不幸にも全然

搜索していかつた地域で残念な結果を迎えてしました。行方不明の方の捜索では早く見つけてあげることが一番大事です。

その手段として、貴重な意見があつたように本人を傷つけないような目印、名札等を付けていた方が最も効果的だと思われます。

「認知症」予防には、役立つ食材を食べること「ま（豆）ご（胡麻）わ（若布）や（野菜）さ（魚）し（椎茸）い（芋）」と指の運動と共に、



「オレンジリング」認知症サポーターの方にはましまれしましす」という意思を示すオレンジリングが渡され、認知症の方に声をかける手伝いをしてもらうことがあります。

「認知症」とい

う言葉は、近年毎日のように耳にするようになりました。肉親であり、知人であり、隣人であり、や

がて我が身にも襲つてくるかも知れない病です。

ただ加齢による「もの忘れ」とたら声掛けから始めましょう。

先ずは、困っている人を見かけ

取り囲まれ育てて頂き成長しました。今度は、お世話をなった先輩方をやさしく見守つてサポートしたいと思っています。

私達の子どもは、地域の方々に

特に興味があつたのは腰痛・膝

今回、工場を始めて見学してみて、今後の生活に役に立つ商品が多くあり、様々な知識を得ることができました。私も高齢化の仲間に入っており、しかも足に障害を持つております。

理事管外研修
「川村義肢（株）」に参加して
(平成29年2月24日) A・N

車椅子についても、2～3種類しか利用経験がなく、個人が便利に利用できるように改造等を行っているため「種類は人の数だけある」ことを感じ吃驚しました。義手・義足・義眼についても時代と共に進歩しており、現在では

痛の補助器具で、使用する人の身になつて、病院との連携・体の寸法・動きを個々にデータ化して最適な装具を「手作り」で製作し、メンテナンスも行つていました。

社長の言葉
で「なんでも
出来る。お客
さんと考える
の精神にも感
心しました。



言わなければ見分けがつかないくらいになつて「指紋がちがうだけ？」との意見も聞こえました。実際に亀・フランゴの補助装具にも挑戦して結果を出していま

施設見学アンケート結果から、高齢者の不安は「年を重ね、体調をくずし、介護が必要になつた時安全安心に暮らしていいけるか」です。感想では「思いのほか施設の諸設備や対応に感心した」方が多くいました。確実に不安は現実になります。本紙が「終末期までの生活プラン」を考える「助になります。」「不安人生から明るい人生」への転機になればと願っています。

編集後記

施設見学研修「社会福祉法人 カナン」

(平成 28 年 9 月 28 日、10 月 14 日)

アンケート結果



(回答者数 43名、項目下の数字は回答者数を示す)

- 1、あなたの性別と年齢をお書き下さい
 性別 (①男性 ②女性)
 18人 25人

年齢 (①40代 ②50代 ③60代 ④70代 ⑤80代 ⑥その他)
 0人 2人 8人 24人 9人 0人

2、あなたの家族状況は、次のどれに当てはまりますか?
 ①ひとり暮らし ②夫婦2人暮らし ③2世代家族 ④3世代家族
 7人 24人 9人 3人

3、見学会に行こうとした動機は何ですか?
 ①自分の将来の入居の為 ②施設に入りたい人の為 ③施設勉強の為
 13人 3人 37人

4、どのようなところを見学したかったですか? (複数回答可)
 ①居室 ②食堂 ③風呂 ④リハビリ室 ⑤談話室 ⑥施設内外の雰囲気
 29人 17人 15人 15人 10人 32人
 ⑦その他 (スタッフの方々)
 2人

5、どんなことを知りたかったですか? (複数回答可)
 ①1日の生活スケジュール ②介護サービス内容 ③介護体制 ④医療体制
 18人 19人 24人 13人
 ⑤食事内容 ⑥プライバシーの確保 ⑦各介護サービスの条件や費用
 10人 10人 21人

6、今不安に感じていることをお書き下さい。
 ・一人になって淋しい
 ・子供に迷惑をかけたくない
 ・体調をくずしたら
 ・認知症にならないか
 ・いずれ福祉のお世話になるのか
 ・動けなくなったら・寝たきりになったら
 ・夫婦2人暮らしで、今後介護が必要になったら
 ・施設入居の条件や必要な金額 (特養か老人ホームか)
 ・自分が入れる施設があるのか
 ・子供が遠方なので、主人が亡くなって一人になった時
 ・健康で生きがいが持ち続けられるか
 ・今後特養入居希望者が増加するが、入居できるか
 ・娘が3人いるが、在宅介護が可能か
 ・貯金を取り崩し年金だけで、楽しい老後が送れるのか
 ・高齢者二人暮らしで、今後の老々介護が不安

7、今日見学した感想をお書き下さい。
 ・色々と話を聞き近所に安心できる場があると少しほっとした
 ・施設で働く人の動きがいい
 ・入居者の感想はどうか
 ・スタッフ教育 (虐待防止教育等) がしっかりしている
 ・充実された施設で、利用したいと思う
 ・行き届いた施設で、利用できれば安心だと心丈夫な思いです
 ・大変いい施設なので、今後増設してほしい
 ・もう少し居室と入浴施設が見たかった
 ・きれいで明るく、気配りがされていました
 ・特養入居は難しいと聞くが、新入居者も多いと聞き安心した
 ・スペースがゆったりしているのがいい
 ・ホテル並みの施設で、私もいざれ入りたい
 ・看護師も常駐し、医療体制もいいので安心感をもった
 ・食事内容も体調や病状に配慮し、素晴らしいと思った
 ・施設もスタッフの方々も従来のイメージとは違い感心した
 ・経営母体が医院ということで、安心です
 ・特養ということで暗いイメージでしたが、見直しました
 ・静かで落ち着いた雰囲気がよかったです



